

# JPNEの概要とIPv6普及に向けた課題

2011年 6月15日

日本ネットワークイネイブラー株式会社

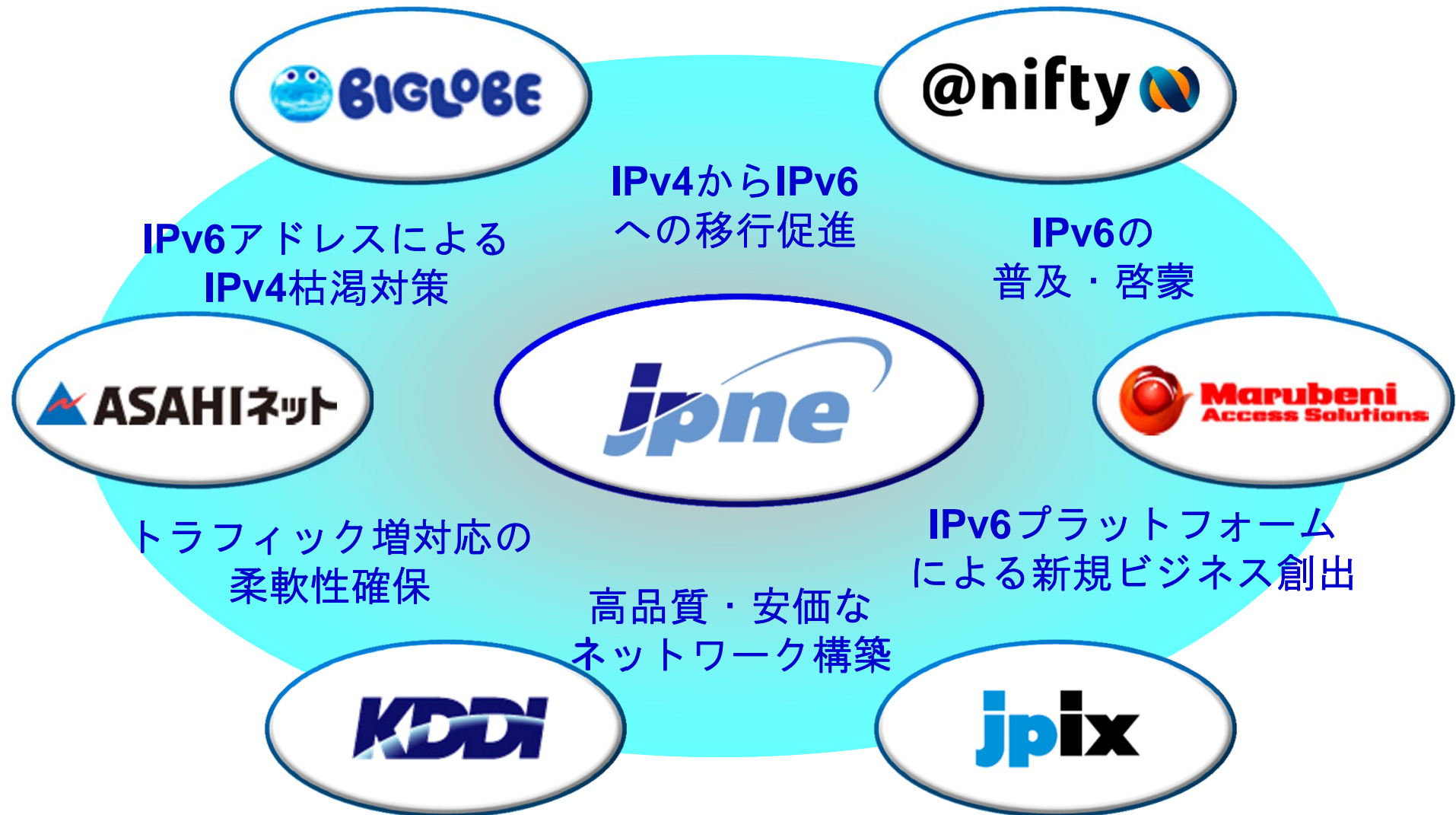
代表取締役社長 小林 昌宏

# 会社概要

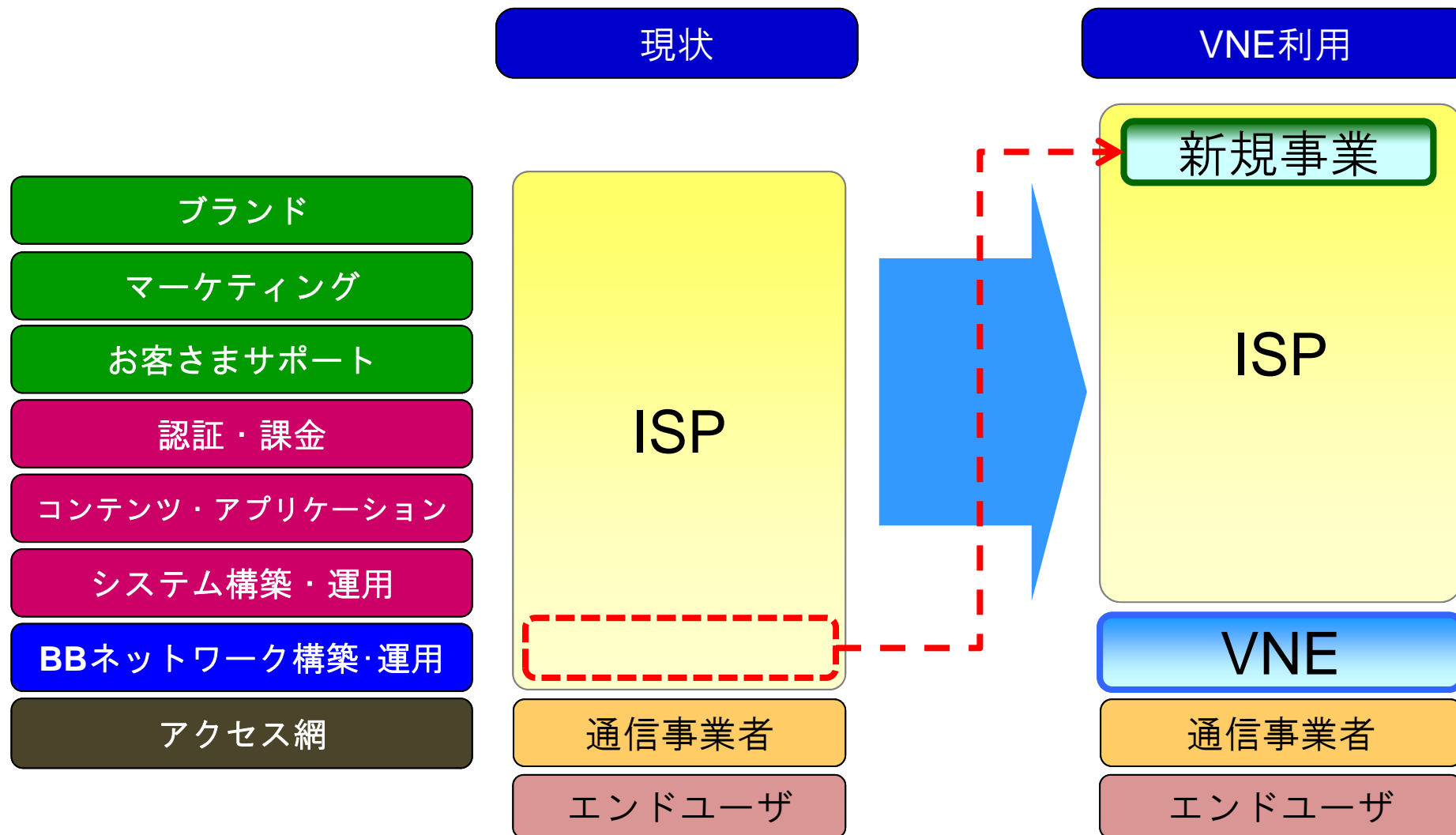


社名	日本ネットワークイネイブラー株式会社
事業会社発足日	2010年8月30日
事業内容	インターネットサービスプロバイダへのローミングサービス事業 ローミングサービス事業に附帯関連する一切の業務等
本社所在地	東京都千代田区大手町1-8-1
資本金	20億円
株主	KDDI株式会社 日本インターネットエクスチェンジ株式会社 NECビッグロブ株式会社 ニフティ株式会社 株式会社朝日ネット 丸紅アクセスソリューションズ株式会社

# 株主≡お客さま≡推進パートナー



# VNE (Virtual Network Enabler) 事業



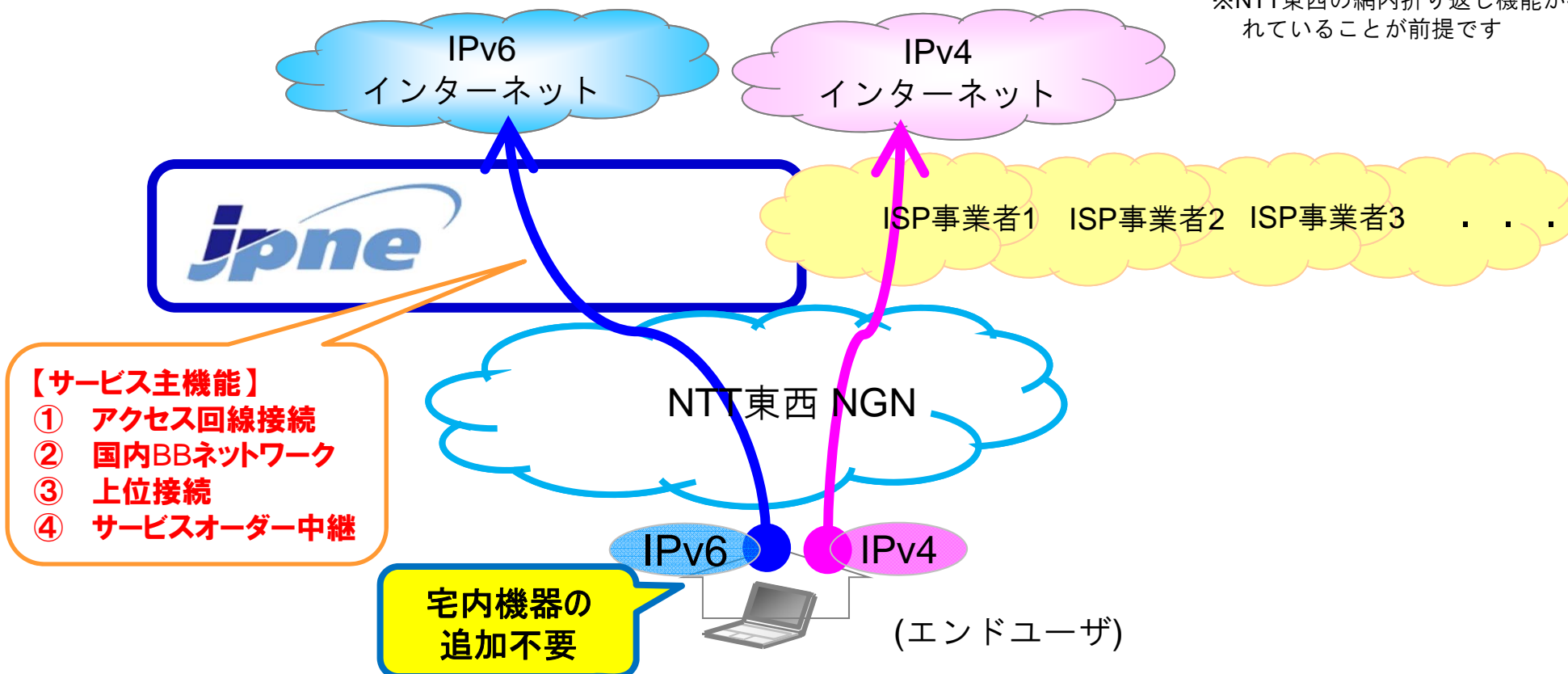
# サービス展開①



## ■ ネイティブ方式IPv6インターネット接続を提供【2011年7月26日予定※】

- ISP様は、IPv4+IPv6（デュアルスタック）サービスのご提供が可能に
- ISP様のIPv6 ネットワーク投資、運用経費等をサービス化

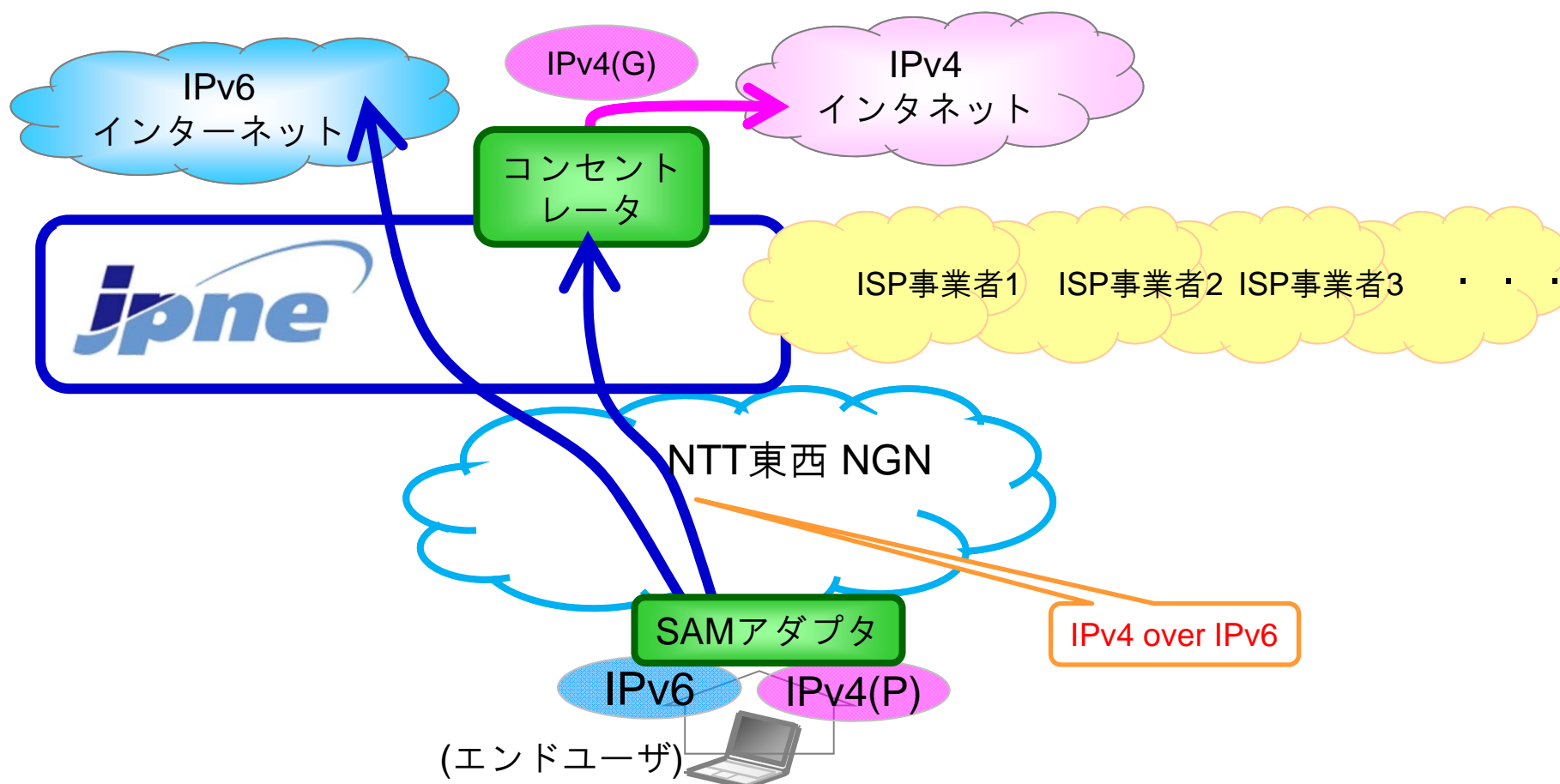
※NTT東西の網内折り返し機能が提供されていることが前提です



## サービス展開②

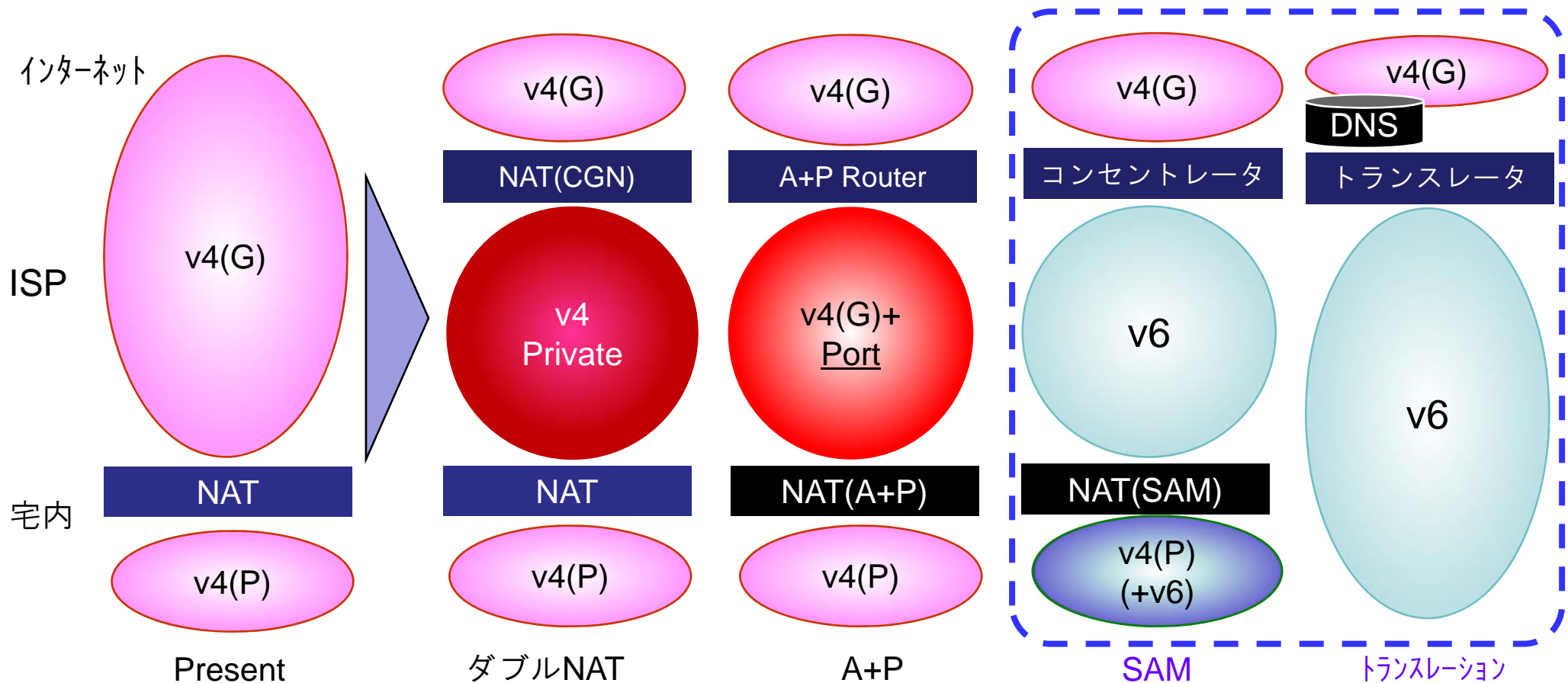
### ■ SAM(Stateless Address Mapping)によるIPv4 over IPv6オプション提供

- ISP様のIPv4ネットワークをIPv6に一元化可能 ⇒ 二重設備の解消



# (参考) アドレスシェアリング方式の代表例

- 1つのグローバルアドレスを複数のお客様で共有するのはどの方式も同じ
- JPNEは「SAM」、「トランスレーション」により、IPv6化を加速



SAM : Stateless Address Mapping  
 CGN : Carrier Grade NAT  
 A+P : Address Plus Port

# IPv6サービス普及に向けての課題



## ■KDDI World IPv6 dayの結果から

- auひかりでは、全加入者の約30～40%程度にIPv6アドレスの払出しがあった。一方、トラフィック量ではIPv6は全体の5%程度。
- これは現時点では多くのパソコンOSや、接続先コンテンツ・サーバ等がIPv6未対応であるためと考えられる

⇒ 今後**IPv6**サービスを普及させ、ニワトリと卵の関係を解消していくことが重要

- IPv6インターネット利用可能なユーザ数の拡大
  - フレッツ光の約70%は、IPv6を利用できないBフレッツ契約
    - フレッツ光ネクストへの移行促進
- お客さまの申込み手続きの簡単化
  - 現状は、合計3回の申込み手続きが必要  
(①フレッツ光ネクスト、②折返しオプション、③ISP申込み)
    - 申込み一元化ツールの早期提供